

令和2年12月吉日

西東京市長選立候補予定者
様

市民団体レインボーコミュニティ西東京
公開質問担当 星 公一郎

西東京市長選挙立候補予定者に対する公開質問状について

私たち「レインボーコミュニティ西東京」は、2016年に市内で発足し、LGBTQ（性的マイノリティ）当事者にとっても、一人ひとりの自分らしさを尊重し合える街になるように、との思いから、LGBTQ当事者や市民との意見交換や仲間づくりの場として、研修や交流会、勉強会等を行ってきました。

2015年に東京都渋谷区と世田谷区で始まった同性パートナーシップの認証制度は、2020年12月21日現在、導入している行政区は69（1府2県15政令指定都市、7特別区、44市町村）にまで増え、人口のカバー率では32.09%にまで及びます^{（出典：一般社団法人 Marriage For All Japan - 結婚の自由をすべての人に：公式サイトより）}。LGBTQへの差別偏見の撤廃・平等と理解促進のために、自治体で積極的施策が求められる状況です。

2021年2月の西東京市長選挙は、新型コロナウイルス施策、増え続ける高齢者の医療介護費、老朽化した公共施設の処遇、空き家対策等、山積した問題に対しての方針や方向性を改めて定める重要な選挙と認識しております。

また、LGBTQ当事者はどの世代どの地域にもおり、個々人の性自認や性的指向等の性の多様性に配慮することは、これからの街づくりや防災、子育て、教育、医療、福祉、介護、就労等において欠かせない観点と私たちは認識しています。

つきましては、今回、公開質問状にてこの街で暮らすLGBTQ当事者やその周囲の人々へ対する施策や方針等について、以下にて質問させていただきます。

何かとお忙しいこととは存じますが、令和3年1月15日までにご回答くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

質問内容

1. 西東京市ではLGBTQに関する理解促進の活動が行われていますが、具体的にどのような活動が市によって行われているかをご存知でしょうか。具体的にお答えください。
2. 多摩地区での同性パートナーシップ認証制度は、既に3市が実施しています（府中市2019年4月（259,573人／2019年4月住民基本台帳統計）、小金井市2020年10月（120,614人／20年11月住民基本台帳統計）、国分寺市2020年11月（126,529人／20年11月住民基本台帳統計））。このことをどう評価されますか。
3. 2019年5月に、我々レインボーコミュニティ西東京から、市議会に対し「同性パートナーシップの公的承認についての陳情」を提出し、全会一致で陳情が可決されましたが、今後の西東京市では具体的にいつまでに、どのような過程と方法でパートナーシップ認証制度を導入するか、考えをお聞かせください。
4. 同性パートナーシップ認証制度以外に、LGBTQに対してのどのような配慮が必要とお考えですか。具体的にお答えください。
5. 体の性別と自認する性別が一致しない性別違和を抱えている方々は、トイレや病院などで不当に扱われることがあります。性別違和を抱えている方々に対し、西東京市ではどのような配慮をしていこうと思っておりますか。

<回答のお取り扱いについて>

いただいた回答につきましては、基本的に回答者の実名入りで原文通り、当団体のホームページ、SNS（twitter、Facebook等）に掲載および公開します。また、記者クラブ等、報道機関に対して開示致します。